

奨励賞

洛和会音羽リハビリテーション病院

京都市山科区



建築主

医療法人社団 洛和会

設計者

株式会社竹中工務店大阪一級建築士事務所

施工者

株式会社竹中工務店京都支店

生きた水庭による通風

建物の中心には水盤を配した中庭があり、各階自然換気が可能である。夏は涼しい風が入り込み、階段踊り場からは落水を設けることで落水の音、淑やかな水紋、風を取り込む生きた中庭となっている。



深い軒庇と繊細な横ルーバー

深い軒庇により外壁の保護や最上階の特別病床への日射遮蔽に配慮している。繊細な横ルーバーは、病院としての正面性を強調するとともに病室への日射制御、近隣住宅の視線制御を計っている。



京の趣を感じる病室サイン

患者さまが自らの居場所の記憶をとどめ易いよう、各病室のサインにアート(アズレージョ/石井春)を配することで、我が家の表札のようなマイホーム感を生み出している。



奨励賞

京都市崇仁市営住宅53棟

京都市下京区



建築主

京都市

設計者

株式会社大建設 大阪事務所

施工者

株式会社松村組 京都支店

みやこ柚木の積極的な利用

集会室の内装(床、天井)やエントランス・エレベーターホールのベンチなど、共有スペースにみやこ柚木を使用し、やすらぎ、ぬくもりのある空間としている。



既存棟との調和や京都らしさを感じさせるデザイン

勾配屋根とし、まちなみに調和したスカイラインを形成した。壁面色は周辺の51棟、52棟を踏襲したグレー色を基調に構成し、既存棟との緩やかなつながりを生み出す外観とした。また格子をイメージしたアルミルーバーにより和や京都らしさを感じさせるデザインとしている。



再生可能エネルギー利用設備の積極的利用

屋根一面に建材一体型の太陽光パネル(10kw以上)を設置している。発電した一部を共用部のエレベーターの照明等に利用し、残りは売電できるようにしている。

